

azbilグループ
「生物多様性保全への取り組み」
に関するお願い
お取引先様用
初版：2015年03月

azbil

<目次>

1. azbilグループの生物多様性保全に対する考え方
2. 生物多様性の保全活動とは
3. 事業活動と生物多様性との関わり
4. 取り組み事例の紹介
5. グリーン調達評価について

azbilグループ「生物多様性保全への取り組み」に関するお願い

1. azbilグループの生物多様性保全に対する考え方

azbilグループでは、自然からの恩恵を受けて事業活動を行うと同時に、私たちの活動も生態系にさまざまな影響を与えていることを認識し、「経団連(*1)生物多様性宣言」推進パートナーズの一員として生物多様性への取り組みを進めています(*2)。生物多様性の保全活動は上記の宣言においても、自社のみならず、“国内外の関連組織との連携、協力を努める”ことが求められ、お取引様に向けても連携、協力をお願いしております。

*1 経団連とは日本経済団体連合会のこと。日本の経済政策に対する実業界からの提言などを目的として結成された組織

*2 経団連が、2009 年春に「経団連生物多様性宣言」を発表。それを受け、経団連自然保護協議会では企業が生物多様性に取り組むにあたっての原則と指針を、「行動指針とその手引き」としてまとめ、宣言の中で示されている7つの行動の「ねらい」(理由)、「留意点」、「活動例」をわかりやすく記載している。また、経団連自然保護協議会では、生物多様性宣言の趣旨に賛同し、生物多様性の保全と持続可能な利用などに資する活動を行うことを宣言する企業を「経団連生物多様性宣言」推進パートナーズとして募集しており、アズビルもその「経団連生物多様性宣言」推進パートナーズの一社となっている。

2. 生物多様性の保全活動とは

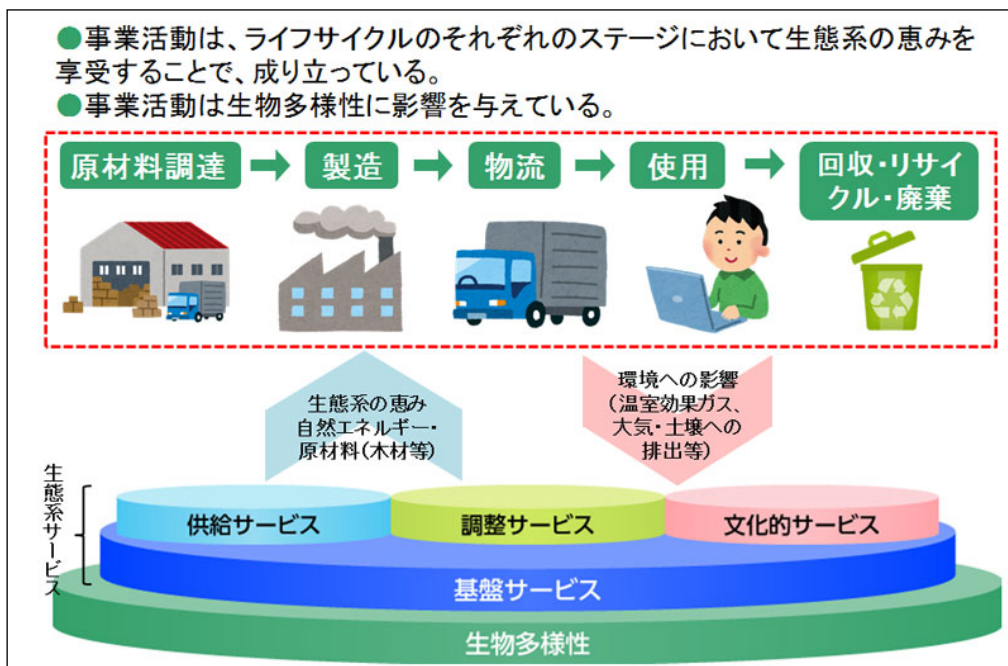
生物多様性とは、地球上では、植物、昆虫、動物など様々な生物が複雑に関係した生態系がつけられているということです。我々の経済、社会活動が地球環境破壊を進行させ、これらの生態系が破壊されつつあります。このため、これらの生態系を守っていかうという視点も含めて、環境活動を実施していかうというのが、生物多様性の保全活動です。全く新しい活動ではなく、これまで実施いただいてきた省エネ活動なども含まれる環境活動です。なお、生物多様性に関しては、環境省が作成した以下のホームページを参照ください。わかりやすく写真付きで解説されています。

<http://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/about.html>

3. 事業活動と生物多様性との関わり

生物多様性と事業活動との関係性を表す図を、以下のとおり、用意いたしました。

図：事業活動と生物多様性の関わり
(引用：電機・電子4団体 生物多様性WG LSB)



azbilグループ「生物多様性保全への取り組み」に関するお願い

4. 取り組み事例の紹介

下記の表では、企業活動全般における事例をを記載しておりますが、お取引様におかれましては、できることから実施いただけますようお願いいたします。

表：生物多様性に配慮した取り組み例
(引用：電機・電子4団体 生物多様性WG LSBをもとに一部加筆修正した)

事業活動	生物多様性保全を含めた環境活動の事例	左記環境活動の効果
事業所の土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽等には在来種を採用 ・殺虫剤、化学肥料の適正使用 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・外来種による悪影響を防ぐ ・化学物質による影響を減らす
研究開発・設計	<ul style="list-style-type: none"> ・資源使用量の削減 ・循環型資源の利用 ・汚染物質の利用低減につながる製品設計 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減で気候変動を緩和する ・材料の採取を減らす ・化学物質による影響を減らす
原材料調達	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン調達 ・FSC認証紙などを購入 等 (FSC認証制度：森林認証制度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上流側の環境影響を抑える ・森林の過剰な伐採を防ぐ
製品製造	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギーでの生産 ・廃棄物、化学物質排出の抑制 ・水資源の過剰な利用の抑制 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減で気候変動を緩和する ・化学物質による影響を減らす ・水の枯渇を防ぐ
梱包・輸送	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送ルートの再検討 ・CO2排出の少ない輸送形態の選択 ・過剰な梱包材の使用の抑制 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音、振動、光の影響を減らす ・CO2削減で気候変動を緩和する ・材料の採取を減らす
販売	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客が製品を生物多様性に配慮して使うための情報提供 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・下流側の環境影響を抑える
使用	<ul style="list-style-type: none"> ・使用段階での省エネ ・使用段階での水使用量削減 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減で気候変動を抑える ・水の枯渇を防ぐ
回収・リサイクル・廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済み製品の回収 ・リユース、リサイクル技術の向上 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の資源採掘を減らす ・焼却時のCO2排出を防ぐ

5. グリーン調達評価について

すべてのお取引先様にお渡ししている「azbilグループ グリーン調達基準書」に記載のとおり、azbilグループでは、お取引先様の環境に対する保全活動およびその結果としてグリーン調達評価の提出をお願いしています。お取引先様における環境活動の多くは、4項の表にも記載のとおり、直接・間接的に生物多様性保全につながっていると考えられることから、グリーン調達評価の提出に追加してのご連絡をいただく必要はございません。

なお、今後、「azbilグループ グリーン調達基準書」および「azbilグループ グリーン調達評価票」の改定の際には、生物多様性保全に関して記述する予定です。

【お問合せ先】

アズビル株式会社 または azbilグループの購買部門の担当者までお願いいたします。

©2015 Azbil Corporation All RIGHTS RESERVED.

アズビル株式会社 / azbilグループ

初版：2015年03月



azbil